



紙 をつくる

2026年2月28日
中之庄公民館

紙の町で育つ子どもたちが「紙はどのように作られるのか」を、体験を通して学んだ。導入はクイズ形式で、紙の原料が植物繊維であること、特産のミツマタが和紙づくりに用いられてきたことを学んだ。市内の手漉き和紙職人大西満王さんの実演を間近で見せていただき、工程と素材への理解を深め、トロアオイにも触れた。制作ではミツマタ100%パルプと再生パルプを準備し、網ですくい広げ、ならして厚みを整え、水分を落として形にした。ふわふわの手ざわりの違いを確かめながら、厚みや形を工夫する姿が見られ、形への関心が高まった。大人でも知る機会の少ない専門的な内容に触れられ、学びを深める機会となった。



